

2015 年度（平成 27 年度）

事業報告並びに決算報告書

【 いずみ寮 】

社会福祉法人

ベテスダ奉仕女母の家

2015年度（平成27年度）

女性たちの家　　いずみ寮

事 業 報 告

社会福祉法人ベテスタ奉仕女母の家

婦人保護施設　　いずみ寮

2015 年度入退寮 名簿

(入寮)

	氏名	入寮年月日	生年月日	年齢	入所理由	福祉事務所	センター担当	いづみ寮担当
1	MS	2015.6.9	1960.11.26	55	居所なし	葛飾西	齊藤	角田
2	IA	2015.8.13	1989.9.29	25	居所なし	新宿	堀井	小林
3	TK	2015.12.24	1979.10.6	36	居所なし	館山市	大田	高橋
4	KT	2015.2.12	1962.11.2	53	居所なし	豊島	後町	池田
5	SA	2016.3.8	1988.4.14	27	居所なし	立川市	大和田	小林
6	YF	2016.3.31	1996.7.23	19	居所なし	練馬光ヶ丘	齊藤	高橋

(退寮)

	氏名	退寮年月日	入寮年月日	在寮期間	退寮理由	退寮先	センター担当	いづみ寮担当	退寮者ケア
1	NH	2015.4.2	2014.5.2	11ヶ月	自立	実家	大田	柴田	
2	NM	2015.5.26	2015.2.5	3ヶ月	自主退寮	男性宅	大田	小林	
3	TR	2015.6.10	2014.9.17	8ヶ月	自主退寮	男性宅	大和田	高橋	
4	KM	2015.10.9	2010.4.12	5年5ヵ月	自主退寮	男性宅	齊藤	池田	
5	IT	2015.10.10	2013.8.9	2年2ヵ月	自立	アパート	堀井	柴田	○
6	TM	2015.10.23	2010.12.24	4年10ヶ月	自主退寮	男性宅	大和田	池田	
7	HI	2016.1.9	2012.11.15	3年1ヶ月	自立	アパート	堀井	小林	○
8	MS	2016.1.24	2015.6.9	7ヶ月	自主退寮	住み込就労	齊藤	角田	
9	NE	2016.1.28	2006.7.28	9年6ヶ月	施設移管	救護施設	大田	後藤	
10	US	2016.3.31	2011.9.9	4年6月	正看護学校	看護学校寮	齊藤	角谷→箱崎	○

I 基礎データ 2015

1 在寮者の推移

(1) 本入寮

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	6
退寮者	1	1	1	0	0	0	3	0	0	3	0	1	10
在籍数	782	803	752	775	794	780	755	690	721	712	627	707	8898

(2) 緊急一時保護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	0 (0)	3 (2)	4 (5)	4 (3)	4 (5)	2 (3)	2 (1)	3 (5)	3 (4)	2 (3)	1 (5)	1 (1)	29 (37)
退寮者	0 (0)	0 (0)	6 (7)	4 (1)	4 (6)	2 (3)	2 (1)	3 (4)	3 (6)	3 (3)	1 (5)	0 (0)	28 (36)
在籍数	0 (0)	38 (25)	56 (60)	44 (19)	41 (50)	44 (58)	10 (4)	29 (53)	56 (76)	47 (40)	14 (70)	3 (3)	382 (458)

(3) 練馬区緊急一時保護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入寮者	0	1 (1)	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	5 (1)
退寮者	1	1 (1)	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	6 (1)
在籍数	6	2 (2)	0	24	14	0	0	0	14	0	3	0	63 (2)

()は同伴児・同伴者数

2 職員

施設長	横田千代子	看護師	田島真理(2015. 8退職) 東海林広美(2015. 11入職)
副施設長	伊比鮎子	調理員	風見百合子
事務員	藤巻ひとみ	非常勤調理員	渋谷治雄
主任支援員	池田恭子		和田イリス(2015. 10退職)
支援員	柴田智子		澤田頼子
	後藤暢子(2016. 1退職)		庵奥晴子(2015. 10入職)
	角谷美咲(2015. 9退職)	施設設備	澤田保徳(2015. 9退職)
	高橋美帆		矢島一夫(2015. 10常勤へ、事務員兼務)
	小林みゆき(2015. 10常勤へ)	心理療法職員	藤井尚子(2015. 6退職)
非常勤支援員	見城幸子 箱崎幸恵(2015. 8入職)		坂本州子(2015. 7入職)
栄養士	宮崎東海		中川浩子(2015. 7入職)

©宿直アルバイト:大高綾子、森史子、小美戸久子、牧田真由美、河原井純子、木田佳奈恵、キムジョン、稲葉彩、山口友紀乃、中山貴子、山本道代、木村悠絵、森田恵、知久愛美

II 組織運営（委員会・会議）

委員会・会議	実施回数	会議日
・運営委員会	12回	第1月曜日（原則）
・職員会議	12回	第1金曜日（原則）
・スタッフ会議	12回	第3金曜日（原則）
・ケース会議	47回	毎週金曜日AM
・総括会議	5回	1月～3月
・危機管理委員会	10回	第3月曜日（原則）
・安全管理委員会	6回	隔月
・自立支援会議	1回	6月
・支援会議	2回	11月・2月
・業務連絡会	2回	10月7日、3月23日
・トライアングル会議	2回	適宜

■ 安全管理委員会を立ち上げ 2015年6月17日～ 全6回開催

外部委員5名＋施設長＋副施設長＋危機管理委員

：施設内で起きている暴力等の未然防止（リスク回避）、事後について検討し施設職員が安全安心して働ける労働環境を整備し、利用者も安全安心して生活できる環境を整備することを目的。

■ 業務連絡会 第1回 2015年10月7日開催

・心理職員からの報告、安全管理委員会発足他

第2回 2016年3月23日開催

・トラウマ治療の経過報告、いずみ寮作業場の現状他

III 直接支援

1 日常生活支援

- (1) 個別支援プログラム 作成 4月～5月
- (2) お部屋訪問 毎月第1金曜日
- (3) フロア会議 各4フロア各8回
- (4) 暮らしづくりミーティング 6回

●全体協議会（年6回）

	日付	内容	参加人数
1	5月21日	・単独職の支援について ・行事についての説明 ・掃除の時間について ・悪口について等	利用者：25名 職員：8名
2	7月24日	・単独職の支援について ・行事についての説明	利用者：21名 職員：9名

		<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫のものが無くなる件について ・掃除のやり方について ・ゴミの出し方について 	
3	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会より ・行事についての説明 ・「嫌がらせ」が続いたことについて ・冷蔵庫について ・安全管理委員会を立ち上げた事について ・カビ、掃除について ・「あなたにできることはありますか？」アンケートの実施 	利用者：22名 職員：9名
4	11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会からの報告 ・管理棟、居住棟の清掃について ・掃除の方法について ・アンケートの集計結果を報告 	利用者：21名 職員：7名
5	2016年 1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の報告 ・2月から始まる工事について ・冷蔵庫の設置場所について ・トイレの使い方について 	利用者：17名 職員：8名
6	2016年 3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の報告 ・工事の進捗状況について ・冷蔵庫の設置場所について ・冷蔵庫の使い方について ・ゴミの出し方について ・利用者アンケートの報告 	利用者：19名 職員：5名

2 地域生活移行支援

(1) 地域生活支援プログラム（料理講習） 毎月1回 講師：山本洋子さん

No	日時	内容	利用者	職員
1	5/30 (土)	冷しゃぶ風冷やしうどん きんぴら プリンアラモード	3名	柴田・角田
2	6/10 (水)	トマトスパゲティ餃子の皮ピザ ポテト サラダ スープゼリー	3名	柴田・角田
3	7/27 (月)	野菜冷しゃぶ冷やし中華メキシカン餃子 コーヒーゼリー クリームソーダ	3名	柴田・角田
4	8/20 (木)	カルボナーラ パンナコッタ ミネスト	2名	柴田・角田

		ローネ ポテトと長芋のサラダ		実習生 1名
5	9/28 (月)	牛すじカレー 牛すじの煮込み豆腐サ ラダ 野菜のマリネ チーズケーキ	2名	柴田・角田
6	10/19 (月)	オムライス温野菜のサラダ コンソメスープ プリン	2名	柴田・角田
7	12/10 (木)	鶏のから揚げ 野菜のマリネ きのご 飯味噌汁 みかんゼリー	2名	柴田・角田
8	1/25 (月)	お好み焼き タラモサラダ コーヒーゼリー 汁物	3名	柴田・角田
9	2/22 (月)	お好み焼き 卵入り具だくさんソテー ヨーグルトゼリー キャベツスープ	2名	角田・宮崎
10	3/28 (月)	鮭のマヨネーズ焼き 納豆の油揚げ包み 焼き 味噌汁 フルーツヨーグルト ・振り返り・来年度の打ち合わせ	2名	柴田・角田

(2) ステップハウス「ベテルの家」利用実績 一母子交流 自立に向けての練習

	期間	利用者名	利用目的	利用場所
1	4/4 (1日間)	NJ	料理会	1 F
2	4/23 (1日間)	MR	休息 (睡眠)	1 F
3	4/26 (1日間)	NH	休息 (入浴)	1 F
4	4/30 (1日間)	MR	休息 (睡眠)	1 F
5	5/2~5/30 (29日間)	HI	自立練習	2 F
6	6/2~6/25 (24日間)	IT	自立練習	2 F
7	6/27~7/11 (16日間)	US	勉強	2 F
8	7/6 (1日間)	OJ	料理会	1 F
9	8/1 (1日間)	HI	自立練習	2 F
10	8/1~9/30 (61日間)	IT	自立練習	2 F
11	8/16 (1日間)	NJ	料理	1 F
12	9/12~11/22 (71日間)	US	勉強	2 F
13	9/20~9/23 (4日間)	HI	母子宿泊	1 F
14	10/3~12/31 (89日間)	HI	自立練習	2 F
15	10/12 (1日間)	OJ	料理	1 F
16	12/12 (1日間)	OJ	料理	1 F
17	12/27~12/29 (3日間)	HI	母子宿泊	1 F
18	12/31~1/1 (2日間)	NJ	休息	1 F

19	1/4～3/31 (87日間)	US	勉強	2 F
20	2/7 (1日間)	OJ	料理	1 F

3 就労支援

(1) 施設内就労 (COCOアートいずみ、シオン)

■収支報告

収入		支出	
内容	金額	内容	金額
シオン	369,900	利用者給料	728,161
裂き織り	322,430	事務費	6,485
ハーブ	9,780	材料費	231,687
編み物	9,540	シオン券	44,900
パッチワーク	2,600	作業備品費	13,825
利用者作品その他	47,610	マシュマロ倶楽部	16,688
その他	28,150	雑費	48,094
ショップ学園通り	22,365		
出店	304,820	当期繰越金	90,058
いずみ市	57,050		
ミカドコーヒー	2,450		
寄付金	1,700		
預金利息	203		
雑収入	1,200		
収入合計	1,179,898		1,179,898

■出店報告

月日	出店販売名	売り上げ (円)
4月	新任婦人相談員見学会	11,400
5月	カレッジ祭	17,500
6月	大泉総合福祉事務所 後援会総会コンサート	37,200 4,700
7月	石神井福祉事務所 東京都女性センター ノット フォー セール ジャパン	16,550 57,600 4150
8月	夏まつり	2,200
9月	ベデスダの日	39,100

	灘尾ホール	32,300
11月	バザー	47,780
	東京都社会福祉協議会	2,400
12月	クリスマス会	10,700
	歌声ひろば	2,150
3月	ボランティアコーナー	2,500
6月、11月	Tジョイ	16,690
合計		304,820

■COCO アートいずみミーティング：9回

■COCO アート給与体系について会議：3回

・福祉事務所からの生活保護(医療単給)を受けるための収入申告の上限が9,266円(2008年より)だったのが、2015年より15,000円に変更。時給を100円に上げることなどが提案され会議を行い稟議書を提出。

■クローバーの会：2回 COCO アートボランティア+スタッフ

■シオンミーティング(毎月末に1回)：12回 シオンボランティア+利用者+スタッフ

■レインボーワークの就労支援 隔月1回来寮 希望利用者と面接

4 緊急一時保護

◎入所世帯(人数)

○東京都 29世帯(66人 うち同伴児童37人)

○練馬区 5世帯(6人 うち同伴児童1人) 合計 34世帯(72人)

◎内訳：「DV」が26世帯(うち、夫22・内夫1・恋人3)、

「居所なし」2世帯、「親からの暴力」2世帯、「その他」3世帯(ストーカー1・知人の暴力1・親との不仲1)

◎平均入所日数：東京都が13.3日、練馬区が11.6日

(1) 今年度の取り組みと成果

① 感染症対策の充実

- ・ノロウイルス・インフルエンザ発生時のマニュアル設置
- ・共用キッチン用タオルの個別化
- ・アルコールスプレー(キッチン)や加湿器(各居室)を設置

② 各職種のスタッフとの連携

ア. 栄養士による乳幼児食相談

イ. 心理面接

ウ. 医務面接 年度前半は、看護師不在。11月から看護師配置となり、安心した体制の中で支援を進めることができた。

③ 環境整備および備品購入

東京ウイメンズプラザによる「DV防止等民間活動助成事業」を活用。

- ・購入内容（個数）：物干し台（1） 物干し竿（4） 布団干し台（3）
加湿器（4） スタンドライト（4） タオルハンガー（1）
座布団カバー（9） 面接用テーブル（1） ベビーチェア（2）
大人用コミック（4） メルちゃんシリーズ（6）

・購入金額：116,175円（うち、助成金50,000円）

④ 各種書式・マニュアルの作成

⑤ 入所者アンケートの実施

(2) 同伴児童対応状況について

① 学習支援体制

- ・ボランティアスタッフ 3名（清水正雄、清水佳代、丸田勝弘）
- ・日時：平日午前中を基本とする（1時間～1時間半程度）
- ・謝礼：都からの8,090円／児童1人あたり

② 保育および学習支援

保育および学習支援状況は以下の通りである。

	保育回数(人数)：時間	学習回数(人数)：時間	合計回数(人数)：時間
4月	対象者なし	対象者なし	
5月	6回：9時間30分	対象者なし	6回：9時間30分
6月	4回：10時間15分	対象者なし	4回：10時間15分
7月	14回：15時間15分	対象者なし	14回：15時間15分
8月	16回：16時間45分	対象者なし	16回：16時間45分
9月	8回：11時間45分	対象者なし	8回：11時間45分
10月	対象者なし	対象者なし	
11月	5回：11時間15分	16回：24時間00分	21回：35時間15分
12月	18回：30時間00分	4回：3時間00分	22回：33時間30分
1月	6回：12時間30分	3回：4時間00分	9回：16時間30分
2月	19回：30時間45分	3回：1時間45分	22回：32時間30分
3月	対象者なし	対象者なし	
合計	96回：148時間00分	26回：33時間15分	122回：181時間15分

- ・合計（延べ）保育・学習支援回数：122回（122人）
- ・合計（延べ）保育・学習支援時間：181時間15分
（うち、保育時間：148時間00分）
（うち、学習支援時間：33時間15分）
（最長保育時間：4時間45分）
（最低保育時間：15分）

5 退寮者自立支援 事業対象者援助実績

(1) 平成25年度自立生活援助事業対象者援助実績

No	氏名	援助活動回数(回)			援助の概要
		訪問	来訪	通信連絡	
1	NK	13	9	33	生活・医療・就労相談(電話・訪問) 関係者・家族への連絡調整 入退院支援 行事招待
2	GT	9	12	26	生活・就労相談(電話・訪問) 異性との関係相談 行事招待
3	HH	19	14	561	生活・医療相談(電話・訪問) 関係者・家族との連絡調整 入退院支援 行事招待
4	HA	16	16	109	生活・就労相談 金銭管理 関係者 (児相・児童養護施設)との連絡調整 健康支援 行事招待 行事同行
5	ST	32	47	98	生活・健康相談(電話・訪問) 受診付添 関係者との連絡調整 行事招待
6	IH	5		17	生活・就労相談(電話・訪問) 行事招待
7	OT	22	32	133	生活・就労相談・金銭管理・訪問 関係者(職場・社協)との連絡調整 受診付添 行事招待
8	NA	8	32	60	生活・就労相談・金銭管理・訪問 関係者(職場・社協)との連絡調整 母子関係調整 行事招待
9	KK	11	7	107	生活相談(電話・訪問) 家族及び関 係者(児相・児童養護施設)との連 絡調整 母子関係調整 行事招待
10	OM	12		6	生活・就労・健康相談(電話・訪問) 関係者との連絡調整 行事招待
11	MY	15	5	46	生活・就労相談(電話・訪問) 裁判における各サポート 行事招待

(2) 退寮者ケア外対応実績

退寮者数(人)	援助活動回数(回)			援助の概要
	訪問	来訪	通信連絡	
47	86	252	472	生活・健康相談 受診・諸手続き 同行 訪問 清掃 金銭対応 家族調整 行事招待

(3) 地域サポートシステム

発足より3年目を迎え、より活動が活発になってきた。今年度はいずみ寮を自立退寮した利用者が4名となり、対象者が増えたことでサポーターを増員(現在9名)した。

サポーター：森史子(コーディネーター)、小美戸久子、山本洋子、見目哲子、山口洋子、林美樹子、山浦順子、丸田勝弘、清水正雄

退寮者	サロン	バス	訪問					同行	食事	電話	メール	計
			相談	調理	掃除	金銭	書類					
A	1	0	1					3	2	6		13
B	0	0										0
C	9	1	3				2	8		20		43
D	8	1						3		3		15
E	2	2						1		13		18
F	4	0	1							18	14	37
G	11	1	3			2		2		5	6	30
H	1	0	1					1		226	40	269
I	1	0			1		1			7	2	12
J	3	1	2	3	1		1	7		80	23	121
K	3	1						1				5
L	6	2			8			1		7	33	57
M	0	0						3		14	48	65
N	8	0										8
O	1	0								14		15
P	0	0						9				9
Q	0	0										0
R	1	1										2
S	1	0										1
T	1	1										2
U	1	0						1	1	246		249
V	0	0	1							4		5
W										1		1
計	62	11	12	3	10	2	4	40	3	664	166	977

6 健康支援

(1) いずみ寮健康診断：2016年4月13日に実施。…利用者15名 職員15名

健診内容は心電図・胸部レントゲン・血液検査・検尿・身体測定・血圧

(2) 新入寮時健康診断

2015年11月～2016年3月の間の新入寮者— 2名が実施。

2015年11月以前の入寮者—

・STD：トリコモナス+クラミジア→1名

・血液検査の異常値のある利用者はないが、若干基準値外：1名

*不特定多数との性交渉のある利用者には、医療機関でのHIV検査は自費扱いになるため、保健所での検査を勧めたい。

(3) がん検診

◎通院状況 2015年11月～2016年3月末

		単独通院	同行通院	病名
(1)	精神科 (18名)	85回	42回	統合失調症・双極性障害・複雑性PTSD・不眠・自閉症スペクトラム障害・外傷性PTSD・
(2)	内科	58回	25回	高血圧・脂質異常症・肝機能障害・甲状腺機能亢進症・シェーグレン症候群・C型肝炎・重症便秘症
(3)	歯科	31回	1回	齲蝕・歯周病治療後スケーリング
(4)	整形外科	10回	6回	椎間板ヘルニア・腰痛症・降雪時捻挫・人工関節前置換術経過観察
(5)	眼科	2回	2回	アレルギー性結膜炎・コンタクトレンズ
(6)	婦人科	12回	9回	子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣嚢腫・STD
(7)	外科	1回		乳がん検診
(8)	皮膚科	7回	2回	食物アレルギー・花粉症
(9)	耳鼻科	7回	1回	頭鳴症・花粉症・鼻炎・突発性難聴
(10)	泌尿器科	3回	3回	神経因性膀胱による閉尿のため自己導尿中

*歯科受診者が多く、抜歯や抜髄処置の必要な重症例が多数みられた。次年度は予防の必要性を伝えていきたい。

◎入院状況について

	氏名	期間	入院先
1	S・M	3/3～5/12 42日間(4/1～)	横浜カメリアホスピタル(精神科)
2	O・J	4/7～4/20 14日間	大泉病院(精神科)

3	O・M	5/18～5/30	13日間	国立埼玉病院(内科)
4	K・M	6/19～8/31	74日間	大泉病院(精神科)
5	N・R	6/25～7/21	27日間	松沢病院(精神科)
6	T・M	7/24～10/23	92日間	陽和病院(精神科)
7	S・M	7/16～7/24	9日間	大泉病院(精神科)
8	S・M	8/5～3/31(継続中)	240日間	大泉病院(精神科)
9	N・R	12/10～12/25	16日間	松沢病院(内科→精神科)
10	I・Y	12/28～12/29	1日間	御茶ノ水呼吸ケア(呼吸器科)
11	W・Y	1/18～2/19	33日間	大泉病院(精神科)
12	N・R	1/28～2/4	8日間	松沢病院(内科)

7 栄養支援

(1) 食事の提供

栄養バランスの整った食事の提供により、健康状態の改善・維持・生活習慣病の予防・進行を抑える。様々な食品・希望メニュー・季節感に配慮した食事の提供に努めた。

●誕生日の希望メニュー：

海鮮丼・サバのみそ煮・鶏のから揚げ・タンメン・ロコモコ丼・カツカレー・和風ハンバーグ・ハンバーグドリア・シーフードドリア・オムライス・ローストビーフ・ミートボールの甘辛煮・ビビンバクッパ・ペペロンチーノ・パエリアを提供した。利用者から、リクエストの声がかかるようになり、定着してきた。

◎栄養量<2015年度 常食目標と給栄養量>

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA
目標量	1750kcal	75g	45g	600mg	10mg	600g
摂取量	1736kcal	75g	40g	679mg	8mg	608g
	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC			
目標量	1.10mg	1.10mg	100mg			
摂取量	1.00mg	1.23mg	123mg			

脂質エネルギー比 21.2%

炭水化物エネルギー比 61.4%

食塩相当量 10.3g

(月1回の選択食、外注、行事食は、含まれていない)

(2) アレルギー食

小麦粉・大豆・大豆製品・ナッツ・キウイフルーツ・とうもろこし禁： 1名

刺激物・香辛料制限： 1名 カニ禁： 1名 酢・ドレッシング禁： 1名

主食（ご飯）計量 110g：1名 130g：1名 150g：1名

- ・適温給食に心がけた。
- ・月1回細菌検査を行い、健康面・衛生面に注意し、安全な食事提供に心がけた。
- ・乳・幼児の食事には、型・大きさ・食器等に配慮し提供した。常食に副ったメニューで対応した。
- ・食品の食べ方・組み合わせ・食べる量等必要に応じて対応した。
- ・給食会議を毎月行うことができた。意見交換等も伝えられた。

(3) マシュマロ倶楽部（COCOアートでのおやつ作り）

いも餅・梅炭酸ジュース、さつま芋クッキーレーズン

サンド、チョコムース、簡単どらやき、さつま芋と黒糖入りサターアングダー

8 生活安全

5 生活安全支援

- (1) 防災計画に策定 石神井消防署へ提出した。
- (2) 救急救命講座の受講 本年度は救急救命講習の受講は実施できず、翌年度へ持ち越した。
- (3) 自衛消防訓練、防災防犯講習の実施

<2015年度自衛消防訓練実施状況>

	実施日	想定	参加人数 (利用者+職員)	総括担当
4月	4月18日(金)	防災機器取り扱い講習	職員	澤田・角谷
	4月20日(月)	火災(東館1階洗面所から出火)	12名+7名	澤田・角谷
5月	5月27日(火)	地震	15名+9名	澤田・角谷
6月	6月16日(火)	地震後火災(近隣より出火)	11名+5名	澤田・角谷
7月	7月21日(火)	火災(シオンより出火)	8名+4名	澤田・角谷
8月	8月11日(火)	地震	16名+4名	澤田・角谷
9月	9月16日(水)	火災(厨房から出火)		澤田・角谷
10月	10月20(火)	石神井消防署大泉学園出張所長による講和	19名+5名	施設長・小林・後藤・柴田
11月	11月29日(日)	石神井警察署生活安全課防犯係長による講話	11名+4名	施設長・副施設長・後藤・高橋
12月	12月18日(金)	地震後火災	9名+6名	後藤・小林

		(管理棟2階より出火)		
1月	1月17日(日)	火災 (近隣西側建物より出火)	16名+2名	小林
2月	2月24日(水)	地震	11名+9名	小林
3月	3月28日(月)	火災(シオンより出火)		小林

(4) 消火危機の確認、非常持出袋、非常食の点検

①期限切れ食品を整理し、必要な非常食を買い足した。

※2016年度に期限切れとなる食品リストは新年度に作成し栄養士に提出する。

②消防設備点検を受けて整備した設備

4月、10月の消防設備点検の結果を受けて以下の設備を整備した。

	設備名	必要な整備	整備日時
1	誘導灯不良(管理棟居住棟)3台	バッテリー交換	2015年6月29日交換
2	煙感知機不良(居住棟)1台	感知器交換	2015年10月28日交換
3	誘導灯不良(作業場)1台	機器不良交換	2016年3月22日交換

③緊急時対応マニュアルの更新、配布

- ・2016年1月災害時帰寮対策で外勤者の所在情報を更新。
- ・2016年2月のインフルエンザ流行時[インフルエンザ対応マニュアル]を更新。
- ・安全管理委員会で外部委員とも協議し、不審者対応、寮内の冷蔵庫トラブルなどへの対応を検討。

9 心理

◎中川心理報告

(1)個別面接

<緊急一時保護>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	1	0	0	3	3	1	1	3	2	1	0

<本入寮> 利用者数： 32名(途中入寮、退寮者を含む)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
38	34	24	14	44	47	52	62	59	39	38	50

・2015年7月以降は心理担当職員が2名おり、トラウマ治療(フラッシュバック等トラウマ反応の軽減)とフェミニスト・カウンセリング(ナラティブ“語り”をベースとしたカウンセリング)という異なるアプローチが可能である。各利用者のニーズに適したアプ

ローチによる心理療法を提供している。いずれのアプローチが適切かの判断には、一義的には主治医の治療方針を尊重する。

*日中は出かけている外勤者に常時面接を行うことは困難となっており、今後の課題である。

*2016年度からは GHQ30 の質問紙を年に 2 回全員に記入願い、利用者のメンタルヘルスの状態を把握し、普段は面接をしていない利用者にもアプローチするきっかけとしたい。

(2) S S T (社会技能訓練) コミュニケーションスキルの向上…心理教育/ジェンダー教育を織り交ぜ実施。(2015年10月から月1回ペースで実施。) 1対1の時より集団でいる時の方が、個人の課題や長所が顕著になるので支援者としても得るところが大きいと考える。

- 目的
 - ・それぞれが自分のコミュニケーションパターン(キレやすい、我慢してしまふ、断れない…等)を知り、弱点を克服する方法を修得する。
 - ・寮内の対人トラブルへの具体的な対処法を学ぶ。
 - ・自分の身の安全や権利を守る(セクハラ、パワハラ、DVから身を守る)。
 - ・暴力・暴言・自暴自棄に頼らないコミュニケーションを身につける。
 - ・就職活動などでの自分の良いところをアピールできるようになる。

◎坂本心理面接報告

利用者	面接回数	内容	経過
0・J	25回	<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマについての心理教育 ・解離チェック ・EMDR ・対人関係の心理教育 ・DACSテスト ・JIBT-テスト ・フォログラフィートーク ・話し方についての心理教育 ・信頼と信用について心理教育 ・ライフスタイル診断 	<p>トラウマ体験はかなりの部分解消、前向きになってきている。</p> <p>生活上の強いこだわりがありそうで修正が必要</p>
A・N	20回	<ul style="list-style-type: none"> ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・心理教育 ・ホログラフィートーク ・ライフスタイル診断 	<p>トラウマ体験はほぼ解消している。</p> <p>就労に対しての意欲が見られる。</p>
N・H	6回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR(トラウマ治療) ・イメージ療法 	<p>・トラウマ治療に苦痛を感じ中断となる。</p>

N・J	21回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR (トラウマ治療) ・JIBT-Rテスト ・ホログラフィートーク ・インナーチャイト診断 ・ブレインジム ・ライフスタイル診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマ治療により罪悪感はかなり軽減、性格上こだわりの強さがあり 不合理な信念の修正の必要を感じている。
S・T	7回	<ul style="list-style-type: none"> ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・EMDR (トラウマ治療) 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマ治療は解消するも、本人が語っていない問題を感じる。
O・H	34回	<ul style="list-style-type: none"> ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・EMDR (トラウマ治療) ・トラウマについての心理教育 ・イメージ療法 ・ホログラフィートーク ・TFTタッピング ・ブレインジム ・イメージワーク ・ライフスタイル診断 	<p>トラウマ治療に カタルシスで感情を出す 母と兄のトラウマ体験は軽減しつつあるが、怖さは依然として残っている。</p>
K・M	13回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR (トラウマ治療) 大泉HP内 ・ホログラフィートーク ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・DES (解離性チェック) ・対人関係について心理教育 ・愛について信用と信頼について心理教育 	<p>病院内の治療はスムーズに脱感作本人の気付きもありかなり解消、まだ残っている部分もあるようだったが退寮となる。</p>
N・A	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR (トラウマ治療) 	<p>トラウマ治療を申し込んできたが、Snd. sの下がり方が早すぎると思っていたら恐くてやれなくなり中断。</p>
N・M	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・心理面接 ・情報収集 ・ストレス発散法 	<p>否定的認知度、不合理な信念とに問題有り。トラウマ治療に対する不安感があり未実施。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・トラウマについての心理療法 ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト 	
N・R	19回	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・トラウマについての心理療法 ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・DES（解離性チェック） ・TFT（タッピング） ・心理療法 	幻聴、幻覚、フラッシュバックが強くなる。トラウマ治療に対する決心が揺らぐことが多く本人の決断にゆだねる。
S・M	14回	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・EMDR（トラウマ治療）大泉HP内 ・フロログラフィートーク ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト 	治療中、大泣きがあり3日以降から怒りになる。より深く解放されてきている。表情の堅さが取れよく話してくれるようになったが、病院内のスタッフの言動に感情的になったのをきっかけに治療中断。
N・E	19回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR（トラウマ治療） ・ホログラフィートーク ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・主張性のロールプレイ ・対人関係についての心理教育 ・両側性刺激を使つての長所の強化 ・不安に対してのTFT ・会話の仕方についての心理教育 	トラウマ体験はほぼ解消。性格として自信のなさ、自己肯定感が低く、セラピーの必要制を伝えたが、GHの入所が決まり退寮となる。
WY	22回	<ul style="list-style-type: none"> ・EMDR（トラウマ治療） ・ホログラフィートーク ・JIBT-Rテスト ・DACSテスト ・インナーチャイルド診断テスト ・ライフスタイル診断 ・ブレインジム ・職場のストレスからうつ→両側性刺激 	2月時点でトラウマ体験は解消している。その後、本人のライフスタイルの誤りからうつになってしまった。改善を前に退寮を希望、中断。

TM	1回	・情報収集	トラウマ治療の予定であったが感情的出来事で入院。その後退寮となる。
M・S	1回	・JIBT-Rテスト ・DACSTテスト	テストの結果、常識の範疇にあり面接の必要なし

1.1 余暇生活支援

(1) サークル活動 <月別参加利用者数>

・表下の*は、通常のサークル活動以外の行事

【書道教室 講師:小林ヤス先生】→ 小林ヤス先生12月から健康上の理由で辞退された。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	1	1				
述べ人数	7	6	8	7	6	7	7	2				

【聖書の会 講師:森史子先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
述べ人数	6	5	5	3	4	2	5	1	2	2	5	4

【コールフォンテ (合唱) 講師:鹿内芳仁先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	2			1
述べ人数	6	15	10	7	13	8	9	7	16			7

*6月:いずみ寮コンサート 9月:児童・女性福祉連絡会フォーラム (灘尾ホール)

12月:クリスマス会

【リズムクラブ (ハンドベル) 講師:藤野裕子先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1		1	2	1	1	2		1	1
述べ人数	7	6	7		5	11	5	5	11		8	9

*6月:いずみ寮コンサート 9月:児童・女性福祉連絡会フォーラム

12月:クリスマス会・イヴ礼拝

【絵画教室 講師:門田雄三先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
述べ人数	8	3	6	6	4	5	8	3	6	4	6	6

【写真教室 講師:比留間和也先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
述べ人数	6	3	4	2	2	2	3	1	1	3	3	4

【ソシオエステ 講師：ソシオエステティシアンの方】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数		1		1	1	1	1	1	1		1	1
述べ人数		10		8	16	12	11	12	7		9	11

*8月：夏祭り 12月：クリスマス会

【やんわり体操 講師：大高綾子先生】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1	1	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2
述べ人数	3	5g	15	12	14	11	7	5	3	10	9	10

(2) プロジェクト

① 利用者自主企画 (4グループ・9名)

行き先および内容	実施日	参加利用者	付添職員
浅草・築地・六本木	2015年8月5～6日	3名	後藤
野球観戦・カラオケ サンシャイン水族館	2015年9月23～24日	2名	池田
東京ディズニーシー・カラオケ	2015年10月5～6日	2名	伊比
豊島園庭の湯・池袋	2015年2月27～28日	2名	箱崎
合計： 4グループ		9名	4名

② プロジェクト委員会企画 (2グループ・7名)

行き先	実施日	参加利用者	付添職員
スパリゾートハワイアンズ	2015年10月22～23日	2名	高橋
益子焼&いちご狩り	2016年3月15日	5名	池田・柴田
合計： 2グループ		7名	3名

③ その他

・プロジェクト中止：1グループ・3名 (参加者同士のトラブルにより)

(3) 利用者向け研修

研修名	日付	内容	講師	参加人数
生と性の学習会	2月25日 19:00～20:00	セクシャリティ ーとパートナー シップについて	こころとからだ 光の花クリニック 西美也子氏	利用者：11名 職員：5名
暮らしづくり講座	3月6日 14:00～15:00	‘らしさ’につ いて<男と女>	立教大学 湯澤直美氏	利用者：9名 職員：2名
暮らしづくり講座	3月6日 14:00～15:00	‘らしさ’につ いて<男と女>	立教大学 湯澤直美氏	利用者：9名 職員：2名

暮らしづくり講座	3月18日 19:00～20:00	権利擁護事業について	練馬区 社会福祉協議会 美玉典子	利用者：12名 職員：4名
権利擁護研修	3月29日 19:00～20:00	人権について	小平 社会福祉協議会 貫井大輔氏	利用者：16名 職員：5名

1.2 行事

- 4月25日 イースター
- 5月23日 ボランティアの集い
- 5月23日 そば打ち体験
- 6月2日 わかばのつどい
- 6月13日 後援会総会 コンサート「心の鐘を響かせて」
- 6月23日 居室替え
- 7月22日 夏祭り
- 9月19日 ベテスダの日
- 9月27日 東社協シンポジウムコンサート
- 11月14日 バザー
- 12月3日 落ち葉掃き
- 12月21日 蜜蝋づくり
- 12月22日 クリスマス祝会
- 1月11日 成人式
- 3月27日 イースター
- 3月31日 お花見ウォーキング

IV 間接支援

1 地域活動

(1) 地域行事

- ・第24回わかばの集い：2015年6月2日（火）11：00～13：30
和光樹林公園休憩舎
→ 近隣12施設＋大泉保健相談所＋当日の見学者 合計180名が参加。
いずみ寮から16名（利用者、退寮者、スタッフ）が参加。
- ・落ち葉清掃：2015年12月3日（木）13：30～1時間ほど近隣道路清掃
→ いずみ寮利用者7名、スタッフ4名が参加。
- ・森元美代治さんとのトーク会：2015年6月19日（金）18：30～20：00
→ 内容：ハンセン病回復者の森本美代治さんのお話を聞き、ハンセン病に対する理解を深める。いずみ寮COCOアートいずみが会場となった。

・歌声広場：2015年12月19日（金）

→内容：平野講師のリードの下、ピアノやオカリナの伴奏に合わせて地域の方々と歌う。いずみ寮 COCO アートいずみが会場となった。

(2) 大泉まちづくりネット（OMN）・ショップ学園通り関係

・ショップ学園通りの店番：毎月1回（第2水曜日の午後）を担当

NPO「まちの駅大泉学園・ショップ学園通り」。街の情報発信の場として機能。福祉施設、事業所の自主製品の販売のほか、地域の中の知り合い・仲間を広げていく働きとして、食のホットサロン、古典文学を楽しむ会、手作り講座、ママサロン、大泉まちの子ども食堂なども開催している。

・ショップ会議：月1回（第1金曜日 17：30～）の開催

ショップ学園通りの毎月の売上げが各福祉施設に渡され、ショップ学園通りに関しての話し合いなどが行われる。OMNのメンバーに加え、各施設の担当者が参加。

・OMN定例会：隔月第1金曜日 17：30～（ショップ会議と同時開催）

※年1回の総会（今年度は6月6日）へ出席＝横田施設長、柴田・小林

(3) ボランティアについて

○ボランティアの集い 2015年4月23日（木）14：00～16：00

内容&目的：今年度の基本方針「人出会い、人とふれあい、人と交わり、その中で人との関係を学びあえる暮らしづくり」にあるように、利用者がボランティアと出会い、関係を学び合うために、いずみ寮の取り組みを理解していただく機会とする。また、情報交換を行い、今後の活動につなげていく。

出席者：ボランティア10名、職員7名、利用者5名

なお作業ボランティアといずみ寮職員との話し合いの場（クローバーの会）の開催日と参加者は以下の通り。

○クローバーの会

2015年6月12日（金）10：00～11：30

ボランティア5名

スタッフ＝横田施設長、小林、角谷、後藤

2016年1月26日（火）13：40～15：15

ボランティア6名

スタッフ＝伊比副施設長、小林、後藤、箱崎、

○行事ボランティア

行事名	所 属
夏祭り	大泉ベテル教会員、実習生、旧職員、喜楽会、エステティック協会、その他

バザー	大泉ベテル教会員、健康の会会員、自衛隊、実習生、旧職員、大学生、その他
-----	-------------------------------------

○裂き織りボランティア（毎週火・金曜日）

増田ユキ、白仁田郁子、永作肇子、福島よし子、石原直子、丸田勝弘、西桂子、鹿子島早苗、石原直子

○シオンボランティア

河村眞千子、石原直子

○食事サービスボランティア

村田多美子、坂口節子、森島テル子、中村和子、古谷房子

：ケアビレッジ（さくらの家、やまぼうし）へ調理場で作った昼食を提供している。

○毎月第2・3火曜日

月	延べ配食数	月	延べ配食数	月	述べ配食数
4	40食	8	夏休	12	40食
5	40食	9	20食 前半夏休	1	40食
6	40食	10	40食	2	ケアビレッジでノロウィルスが発生したため休み
7	20食 後半夏休	11	40食	3	40食

(4) 『ヒマラヤ杉の家族』発行

2015年8月25日発行 第40号

内容：●ハッピーとの出会い、そして…わかれ

●東北訪問を終えて 他

2 施設設備

ふかつはうす10年目修繕工事

今年度、ふかつはうすが10年目を迎え日本財団の助成を受けて修繕工事を実施した。

① 工事期間： 2015年4月20日 ～ 6月15日 引渡検査：6月30日

② 工事内容： 下表参照

作業場（多目的ホール）	・床暖房設置 ・ボランティアルームのドア、空調設置 ・手洗場給湯器設置 ・女子トイレ洗浄便座設置
喫茶シオン	・床暖房設置 ・下駄箱 ・庇と網戸設置 ・天井塗装 ・天井ファン設置 ・鏡設置
2階緊急母子宿泊室	・サッシと引戸増設 ・ダイニング壁 ・押入れ棚工事 ・壁紙貼替 ・ユニットバス設置 ・脱衣所洗面台交換 ・照明更新 ・キッチン水栓交換 ・トイレ天井扇交換 ・庇設置 ・屋上喫煙コーナー設置 ・屋上目隠しパネル

屋外・外壁	・外壁洗浄塗装 ・庇雨樋修理 ・庭段差解消
-------	-----------------------

(6)環境改善事業工事（塀、門扉、中庭舗装、中庭設備工事）

「平成 27 年度児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業補助金」を受けて、施設の塀・門扉・庭舗装・庭設備工事を実施した。

① 工事期間： 2016 年 2 月 25 日 ～ 3 月 30 日 引渡検査：3 月 30 日

② 工事内容： 下表参照

門扉、門周辺工事	・ステンレス門扉への交換 ・シオン前フェンス交換、塗装 ・南門塗装
塀工事	・施設南側にアルミ製 2 段フェンス塀を設置
庭舗装工事	・庭、利用者玄関前の透水性ブロック舗装 ・排水の改良
庭設備工事	・デッキテラス設置 ・駐輪場屋根の更新

※工事に伴い、2 トントラック 2.5 台分の不用品を処分してもらった。

3 権利擁護

第三者委員への投書： 2 回

苦情解決： みんなのポスト投書 159 回

内容：職員の対応 1 6 ・利用者間トラブル 1 1 ・生活上の問題 1 1 1

その他 2 1

対応：個人対応 1 1 ・全体への対応 1 4 4 ・職員間で協議 1 3 ・その他 2

第三者評価： (株)生活構造研究所により受審

4 研修

◎スタッフ向け 施設内研修

日付	内容	講師	参加職員
5 月 28 日	暴力被害者研修	井上摩耶子氏 (ウィメンズカウンセ リング京都代表)	4 名
8 月 28 日	ケースワーク研修	長沼葉月氏 (首都大学東京准教授)	10 名
10 月 15 日			8 名
3 月 14 日			8 名
3 月 2 日	ケースワーク研修	加藤尚子氏 (明治大学准教授)	9 名
9 月 9 日	リスクマネジメント研修	長沼葉月氏 (首都大学東京准教授)	11 名
11 月 20 日			9 名
12 月 17 日	売春防止法研修	戒能民江氏 (御茶ノ水大学名誉教授)	10 名
3 月 22 日	研修報告会	職員	9 名

◎スタッフ向け 施設外研修

月	日	場所・内容	参加者	主催者等
5月	7日	「暴力のない社会づくり」講演	横田	東社協
6月	11日	練馬パワーアップカレッジ講演	横田	練馬区
	17日	タッピング研修	伊比	中部精神保健福祉センター
	17日	神奈川医療少年院見学	矢島	中部精神保健福祉センター
	17日	発達障害研修	宮崎	東社協
	18日	食品衛生講座	宮崎 澤田	
7月	14日	関東甲信越地区婦人保護事業研究協議会	横田 高橋	中部精神保健福祉センター
	14日	発達障害研修	小林 池田	
	16日	つくりっこの家	小林	
	28-29日	会計研修	矢島	
8月	4~5日	防火管理者研修	伊比	東社協 練馬区
	26~27日	大阪研修	横田 柴田 矢島	
	31日	練馬区給食研修	宮崎	
9月	29日	原町成年寮見学	角谷 箱崎	
10月	6日	婦人相談員等現任研修	坂本	東京都女性相談センター
11月	6日	赤城少年院見学	横田 伊比	共立女子大学坂本先生
	12~13日	全婦連 指導員研究協議会	横田 高橋	全婦連
	10日	暴力被害者支援スキルアップ講座	矢島	東社協
	18日	従事者会事例検討会	高橋	東社協
	26日	市区町村相談員との意見交換会	箱崎 東海林	東京都女性相談センター
1月	14日	中部センター見学	柴田	中部精神保健福祉センター
2月	13日	性犯罪・ 性暴力被害者支援医療機関向け研修	東海林 坂本	
3月	17~18日	実習指導者研修	高橋 池田	専門学校 高崎医療福祉カレッジ

5 教育

(1) 実習生受け入れ 4名

立教大学	6月15日～7月2日 (15日間)
明治学院大学	6月15日～7月15日 (23日間)
白梅学園大学	8月17日～9月4日 (12日間)
社会事業大学	8月17日～9月18日 (23日間)

(2) 見学等受け入れ

	月 日	団体名
1	2015年4月27日	大妻女子大学 人間関係学部
2	4月27日	練馬区人権男女共同参画課
3	4月28日	新任婦人相談員研修
4	6月19日	法政大学キャリアデザイン学部
5	6月22日	児童養護施設れんげ学園
6	7月15日	上智社会福祉専門学校
7	7月15日	ノット・フォーセール・ジャパン
8	7月17日	ボランティア希望者 (パワーアップカレッジ)
9	7月30日	立川児童相談所 精舎児童学園
10	8月30日	東洋大学ライフデザイン学部
11	10月19日	練馬区社会福祉協議会
12	2016年2月23日	国立きぬ川学院
13	3月15日	ドテラジャパン
14	3月17日	読売新聞社会保障部

以上

婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 資金収支計算書

(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	婦人保護事業収入	127,340,000	129,139,205	△ 1,799,205	
	措置事業収入	104,140,000	105,592,205	△ 1,452,205	
	事務費収入	84,700,000	85,830,710	△ 1,130,710	
	事業費収入	19,440,000	19,761,495	△ 321,495	
	その他の事業収入	23,200,000	23,547,000	△ 347,000	
	補助金事業収入	23,200,000	23,547,000	△ 347,000	
	経常経費寄附金収入	1,300,000	1,402,000	△ 102,000	
	受取利息配当金収入	2,000	3,309	△ 1,309	
	その他の収入	3,400,000	4,096,984	△ 696,984	
	利用者等外給食費収入	2,000,000	2,090,600	△ 90,600	
	雑収入	1,400,000	1,182,450	217,550	
	雑収入	1,400,000	1,182,450	217,550	
	過年度修正収入		823,934	△ 823,934	
	事業活動収入計(1)	132,042,000	134,641,498	△ 2,599,498	
	事業活動による収支	人件費支出	96,070,000	96,374,420	△ 304,420
職員給料支出		45,190,000	44,438,677	751,323	
職員賞与支出		12,260,000	12,185,236	74,764	
非常勤職員給与支出		26,590,000	26,516,206	73,794	
退職給付支出			1,889,380	△ 1,889,380	
法定福利費支出		12,030,000	11,344,921	685,079	
事業費支出		24,300,000	22,957,806	1,342,194	
給食費支出		12,000,000	11,424,727	575,273	
保健衛生費支出		860,000	840,549	19,451	
医療費支出		40,000	6,168	33,832	
被服費支出		800,000	654,036	145,964	
教養娯楽費支出		1,800,000	1,765,131	34,869	
日用品費支出		1,700,000	1,722,524	△ 22,524	
本人支給金支出		100,000	72,655	27,345	
水道光熱費支出		4,900,000	4,634,039	265,961	
燃料費支出		240,000	1,616	238,384	
消耗器具備品費支出		700,000	733,288	△ 33,288	
賃借料支出			1,800	△ 1,800	
教育指導費支出		500,000	364,165	135,835	
就職支度費支出		300,000	407,791	△ 107,791	
車輛費支出			62,137	△ 62,137	
車輛燃料費支出		60,000	7,709	52,291	
旅費交通費支出			11,387	△ 11,387	
修繕費支出			6,480	△ 6,480	
通信運搬費支出			40,516	△ 40,516	
雑支出		300,000	201,088	98,912	
事務費支出		11,482,000	12,362,661	△ 880,661	
福利厚生費支出		350,000	258,263	91,737	
職員被服費支出		50,000		50,000	
旅費交通費支出		800,000	591,569	208,431	
研修研究費支出	450,000	461,107	△ 11,107		
事務消耗品費支出	1,700,000	1,469,361	230,639		
印刷製本費支出	100,000	68,338	31,662		
水道光熱費支出	380,000	352,424	27,576		
燃料費支出	10,000	143,850	△ 133,850		
修繕費支出	3,000,000	3,483,771	△ 483,771		
通信運搬費支出	790,000	737,068	52,932		
会議費支出	27,000	5,487	21,513		

	業務委託費支出	630,000	661,800	△ 31,800
	検査委託費支出	630,000		630,000
	その他の委託費支出		661,800	△ 661,800
	手数料支出	900,000	916,258	△ 16,258
	保険料支出	540,000	478,875	61,125
	賃借料支出	505,000	579,456	△ 74,456
	退寮者ケア費支出	50,000	53,094	△ 3,094
	雑支出	1,200,000	2,101,940	△ 901,940
	雑支出	1,200,000	2,101,940	△ 901,940
	その他の支出	2,400,000	2,498,660	△ 98,660
	利用者等外給食費支出	2,400,000	2,498,660	△ 98,660
	事業活動支出計(2)	134,252,000	134,193,547	58,453
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,210,000	447,951	△ 2,657,951
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	8,000,000	7,967,000	33,000
	施設整備等補助金収入	8,000,000	7,967,000	33,000
	施設整備等寄附金収入	18,030,000	18,030,000	0
	施設整備等寄附金収入	18,030,000	18,030,000	0
	固定資産売却収入		3,600,000	△ 3,600,000
	建設仮勘定取崩収入		3,600,000	△ 3,600,000
	施設整備等収入計(4)	26,030,000	29,597,000	△ 3,567,000
	支出			
	固定資産取得支出	29,850,000	30,267,974	△ 417,974
	建物取得支出(基本財産)	19,300,000		19,300,000
	建物附属設備取得支出(基本財産)	10,000,000		10,000,000
	建物附属設備取得支出		27,673,972	△ 27,673,972
器具及び備品取得支出	550,000	994,002	△ 444,002	
建設仮勘定取得支出		1,600,000	△ 1,600,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	530,000	530,064	△ 64	
施設整備等支出計(5)	30,380,000	30,798,038	△ 418,038	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,350,000	△ 1,201,038	△ 3,148,962	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	580,000	2,413,560	△ 1,833,560
	退職給付引当資産取崩収入		1,833,560	△ 1,833,560
	人件費積立資産取崩収入(措置)	580,000	580,000	0
	拠点区分間繰入金収入	38,000,000	38,000,000	0
	その他の活動収入計(7)	38,580,000	40,413,560	△ 1,833,560
	支出			
	積立資産支出	27,900,000	27,826,620	73,380
	退職給付引当資産支出	900,000	826,620	73,380
	人件費積立資産支出(措置)	9,000,000	9,000,000	0
	修繕積立資産支出(措置)	15,000,000	15,000,000	0
	備品等購入積立資産支出(措置)	3,000,000	3,000,000	0
	拠点区分間繰入金支出	1,200,000	1,200,000	0
その他の活動支出計(8)	29,100,000	29,026,620	73,380	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,480,000	11,386,940	△ 1,906,940	
予備費支出(10)		—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,920,000	10,633,853	△ 7,713,853	
前期末支払資金残高(12)	10,913,106	10,921,734	△ 8,628	
当期末支払資金残高(11)+(12)	13,833,106	21,555,587	△ 7,722,481	

婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 事業活動計算書

(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	婦人保護事業収益	129,139,205	134,363,894	△ 5,224,689
	措置事業収益	105,592,205	110,910,894	△ 5,318,689
	事務費収益	85,830,710	87,744,992	△ 1,914,282
	事業費収益	19,761,495	23,165,902	△ 3,404,407
	その他の事業収益	23,547,000	23,453,000	94,000
	補助金事業収益	23,547,000	23,453,000	94,000
	経常経費寄附金収益	1,402,000	4,432,000	△ 3,030,000
	サービス活動収益計(1)	130,541,205	138,795,894	△ 8,254,689
サービス活動増減の部 費用	人件費	95,714,215	99,578,176	△ 3,863,961
	職員給料	44,438,677	49,095,650	△ 4,656,973
	職員賞与	8,305,851	13,984,405	△ 5,678,554
	賞与引当金繰入	4,226,120		4,226,120
	非常勤職員給与	26,516,206	22,269,510	4,246,696
	退職給付費用	882,440	920,000	△ 37,560
	法定福利費	11,344,921	13,308,611	△ 1,963,690
	事業費	22,957,806	25,057,890	△ 2,100,084
	給食費	11,424,727	12,394,528	△ 969,801
	保健衛生費	840,549	993,908	△ 153,359
	医療費	6,168	24,251	△ 18,083
	被服費	654,036	776,770	△ 122,734
	教養娯楽費	1,765,131	2,053,383	△ 288,252
	日用品費	1,722,524	1,987,641	△ 265,117
	本人支給金	72,655	88,770	△ 16,115
	水道光熱費	4,634,039	5,209,263	△ 575,224
	燃料費	1,616	175,908	△ 174,292
	消耗器具備品費	733,288	199,164	534,124
	賃借料	1,800		1,800
	教育指導費	364,165	536,374	△ 172,209
	就職支度費	407,791	180,000	227,791
	車両費	62,137	106,787	△ 44,650
	車両燃料費	7,709		7,709
	旅費交通費	11,387		11,387
	修繕費	6,480	35,684	△ 29,204
	通信運搬費	40,516		40,516
	雑費	201,088	295,459	△ 94,371
	事務費	12,362,661	11,419,520	943,141
	福利厚生費	258,263	406,354	△ 148,091
	旅費交通費	591,569	793,225	△ 201,656
	研修研究費	461,107	804,099	△ 342,992
	事務消耗品費	1,469,361	2,062,988	△ 593,627
	印刷製本費	68,338	229,500	△ 161,162
水道光熱費	352,424	388,262	△ 35,838	
燃料費	143,850	4,230	139,620	
修繕費	3,483,771	2,325,470	1,158,301	
通信運搬費	737,068	803,181	△ 66,113	
会議費	5,487	5,607	△ 120	
業務委託費	661,800	1,017,000	△ 355,200	
その他の委託費	661,800	1,017,000	△ 355,200	
手数料	916,258	897,306	18,952	
保険料	478,875	647,130	△ 168,255	
賃借料	579,456	8,400	571,056	

	退寮者ケア費	53,094	24,795	28,299
	雑費	2,101,940	1,001,973	1,099,967
	雑費	2,101,940	1,001,973	1,099,967
	減価償却費	16,695,433	15,034,586	1,660,847
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,689,342	△ 6,600,042	△ 1,089,300
	サービス活動費用計(2)	140,040,773	144,490,130	△ 4,449,357
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 9,499,568	△ 5,694,236	△ 3,805,332
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	3,309	2,217	1,092
	その他のサービス活動外収益	3,273,050	3,516,913	△ 243,863
	利用者等外給食収益	2,090,600	1,881,840	208,760
	雑収益	1,182,450	1,635,073	△ 452,623
	雑収益	1,182,450	1,635,073	△ 452,623
	サービス活動外収益計(4)	3,276,359	3,519,130	△ 242,771
	費用			
	その他のサービス活動外費用	2,498,660	2,288,770	209,890
	利用者等外給食費	2,498,660	2,288,770	209,890
サービス活動外費用計(5)	2,498,660	2,288,770	209,890	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	777,699	1,230,360	△ 452,661	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 8,721,869	△ 4,463,876	△ 4,257,993	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	7,967,000		7,967,000
	施設整備等補助金収益	7,967,000		7,967,000
	施設整備等寄附金収益	18,030,000		18,030,000
	施設整備等寄附金収益	18,030,000		18,030,000
	拠点区分間繰入金収益	38,000,000		38,000,000
	拠点区分間固定資産移管収益	20,223,570		20,223,570
	その他の特別収益	823,934		823,934
	過年度修正益	823,934		823,934
	特別収益計(8)	85,044,504		85,044,504
費用				
固定資産売却損・処分損	15		15	
器具及び備品売却損・処分損	15		15	
事業区分間繰入金費用		1,200,000	△ 1,200,000	
拠点区分間繰入金費用	1,200,000		1,200,000	
その他の特別損失	3,879,385		3,879,385	
会計基準移行に伴う過年度修正額	3,879,385		3,879,385	
特別費用計(9)	5,079,400	1,200,000	3,879,400	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	79,965,104	△ 1,200,000	81,165,104	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	71,243,235	△ 5,663,876	76,907,111	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	12,123,873	18,427,749	△ 6,303,876
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	83,367,108	12,763,873	70,603,235
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	△ 17,420,000	3,600,000	△ 21,020,000
	人件費積立金取崩額(措置)	580,000	1,600,000	△ 1,020,000
	修繕積立金取崩額(措置)	△ 15,000,000	2,000,000	△ 17,000,000
	備品等購入積立金取崩額(措置)	△ 3,000,000		△ 3,000,000
	その他の積立金積立額(16)	9,000,000	4,240,000	4,760,000
	人件費積立金積立額(措置)	9,000,000	2,000,000	7,000,000
	修繕積立金積立額(措置)		2,240,000	△ 2,240,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	56,947,108	12,123,873	44,823,235	

婦人保護施設いずみ寮拠点拠点区分 貸借対照表
平成28年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	22,450,551	12,589,977	9,860,574	流動負債	5,651,148	1,668,243	3,982,905
現金預金	10,691,067	9,346,574	1,344,493	事業未払金	894,964	1,668,243	△ 773,279
事業未収金	10,935,550	3,243,403	7,692,147	1年以内返済予定リース債務	530,064		530,064
拠点区分間貸付金	823,934		823,934	賞与引当金	4,226,120		4,226,120
固定資産	327,337,683	268,371,455	58,966,228	固定負債	8,830,488	7,540,484	1,290,004
基本財産	202,835,096	189,652,424	13,182,672	リース債務	2,296,944		2,296,944
土地	21,429,660	5,122,100	16,307,560	退職給付引当金	6,533,544	7,540,484	△ 1,006,940
建物	181,405,436	184,530,324	△ 3,124,888	負債の部合計	14,481,636	9,208,727	5,272,909
その他の固定資産	124,502,587	78,719,031	45,783,556	純資産の部			
土地	973		973	基本金	174,225,825	174,225,825	0
建物	73,865,950		73,865,950	第1号基本金	174,225,825	174,225,825	0
建物附属設備	0	53,768,946	△ 53,768,946	国庫補助金等特別積立金	66,473,665	74,163,007	△ 7,689,342
車輛運搬具	530,857	938,759	△ 407,902	その他の積立金	37,660,000	11,240,000	26,420,000
器具及び備品	3,084,255	3,230,842	△ 146,587	人件費積立金(措置)	12,820,000	4,400,000	8,420,000
建設仮勘定	0	2,000,000	△ 2,000,000	修繕積立金(措置)	19,350,000	4,350,000	15,000,000
有形リース資産	2,827,008		2,827,008	備品等購入積立金(措置)	5,490,000	2,490,000	3,000,000
退職給付引当資産	6,533,544	7,540,484	△ 1,006,940	次期繰越活動増減差額	56,947,108	12,123,873	44,823,235
人件費積立資産(措置)	12,820,000	4,400,000	8,420,000	(うち当期活動増減差額)	71,243,235	△ 5,663,876	76,907,111
修繕積立資産(措置)	19,350,000	4,350,000	15,000,000	純資産の部合計	335,306,598	271,752,705	63,553,893
備品等購入積立資産(措置)	5,490,000	2,490,000	3,000,000	負債及び純資産の部合計	349,788,234	280,961,432	68,826,802
資産の部合計	349,788,234	280,961,432	68,826,802				

財務諸表に対する注記（婦人保護施設いずみ寮拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等－償却原価法（定額法）
- ・上記以外の有価証券で時価のあるもの－決算日の市場価格に基づく時価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品－定額法
- ・リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金－職員の退職給付に備えるため、期末退職金要支給額を計上している。
- ・賞与引当金－職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度の帰属する額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び、東京都社会福祉協議会の退職共済制度によっている。

4. 拠点が作成する財務諸表等とサービス区分

当拠点区分において作成する財務諸表は以下のとおりになっている。

当拠点区分において作成する財務諸表等は以下のとおりになっている。

(1) いずみ寮拠点財務諸表（第1号の4様式、第2号の4様式、第3号の4様式）

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	5,122,100	16,307,560	0	21,429,660
建物	184,530,324	3,915,037	7,039,925	181,405,436
合計	189,652,424	20,222,597	7,039,925	202,835,096

6. 会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建物	181,405,436	0	181,405,436
小計	181,405,436	0	181,405,436
その他の固定資産			
建物	73,865,950	0	73,865,950
車輛運搬具	530,857	0	530,857
器具及び備品	3,084,255	0	3,084,255
小計	77,481,062	0	77,481,062
合計	258,886,498	0	258,886,498

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	10,935,550	0	10,935,550
合計	10,935,550	0	10,935,550

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし